

令和 5 年度事業報告及び 収支決算（案）

令和 6 年 6 月 4 日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

目 次

1	事業実施概況	1
2	事業実施状況	5
3	令和5年度決算財務諸表 令和5年度収支計算書	12
	財産目録	13
4	監査報告書	14

1 事業実施概況

(1) 令和5年度基本方針

令和5年度は、次の基本方針のもと下記の取組を実施した。

- ア 制度別・用途別作付計画の着実な実践による米価の安定化を目指す。特に飼料用米から主食用米への回帰を防ぐ。
- イ 環境変化に対応した福島県水田農業の再構築の取組を加速化する。農地集積や担い手確保の取組と併せた畑作物・園芸作物への作付転換を促進する。

(2) 需要に応じた米の生産・販売の推進

ア 令和5年産

- (ア) 主食用米については、令和3、4年産と2年続けて本県も含め全国的に大規模な作付転換に取り組んだ結果、令和4年産米の相対取引価格は令和3年産と比較し回復に向かった。
- (イ) 県推進会議としては、令和5年産主食用米の「生産の目安」を前年産同様の51,900haと設定して、産地づくり通信、推進チラシによる情報発信、重点地域農業再生協議会、方針作成者との個別の意見交換を実施しながら取組の推進を図った。
- (ウ) 本県の作付転換の中心となっている飼料用米、備蓄米については、飼料用米の複数年契約加算の廃止、令和4年産備蓄米の価格が主食用米と比較して低かったことに加え、コロナ禍による行動制限の解除により業務用米需要が回復基調となったこと等から生産現場における作付転換の機運は低調となった。
- (エ) 結果として、飼料用米は前年対比909ha減、備蓄米は同655ha減となるなど、主食用米作付面積は、生産の目安より1,200ha増加し、53,100haとなった。
- (オ) 麦・大豆は、畑作物産地形成促進事業や県単事業の活用を働きかけた結果、前年に比較し、二毛作も含め大豆で173ha増、麦で41ha増となった。
- (カ) 畑地化促進事業を活用し490haが畑地化された。高収益作物、そば、飼料作物における取組が多かった。

<令和5年産制度別・用途別作付状況>

単位 : ha

年産		4年産		5年産		③-①	③-②
項目		実績 ①	計画 ②	実績 ③			
主食用米		51,900	51,900	53,100	1,200	1,200	1,200
非 主 食 用 米	備蓄米	5,408	5,300	4,753	▲ 655	▲ 547	
	飼料用米	12,631	12,600	11,722	▲ 909	▲ 878	
	米粉用米	13	19	12	▲ 1	▲ 7	
	新市場開拓用米	82	100	142	60	42	
	WCS用稻	1,078	1,100	1,079	1	▲ 21	
	加工用米	382	450	448	66	▲ 2	
	その他	35	31	36	1	5	
	計	19,629	19,600	18,192	▲ 1,437	▲ 1,408	
全水稻		71,500	71,500	71,300	▲ 200	▲ 200	

<令和5年産戦略作物の作付状況>

単位 : ha

年産		4年産		5年産		③-①	③-②
項目		実績 ①	計画 ②	実績 ③			
麦	295	334	336	41	2		
大豆	833	989	1,006	173	17		
飼料作物	1,656	1,714	1,616	▲ 40	▲ 98		
そば	2,051	2,323	1,727	▲ 324	▲ 596		
なたね	59	60	84	25	24		
高収益作物	951	1,000	865	▲ 86	▲ 135		

注 : 二毛作を含む

イ 令和6年産

(ア) 令和5年10月の国の食糧部会の基本指針において、令和6年産主食用米等生産数量は令和5年産米生産量の見通しと同水準の669万トンが示されたことを踏まえるとともに本県産米の需要量、在庫水準について検証しながら、県推進会議として令和6年産主食用米の「生産の目安」を前年産実績と同様の53,100haと設定した。ただし、この内、1,200haは原子力被災12市町村の営農再開バッファとして県で

一括留保し、各協議会へは令和5年産主食用米「生産の目安」と同様の面積を配分した。取組の柱となる、飼料用米については令和5年産の実績を、備蓄米については3万トンと前年より高い目標を設定した。

＜令和6年産制度別・用途別作付計画＞ 単位：ha

年産		5年産	6年産	
項目		実績 ①	計画 ②	5年産実績との差 ②-①
主食用米		53,100	53,100	0
非 主 食 用 米	備蓄米	4,753	5,350	597
	飼料用米	11,722	10,900	▲ 822
	米粉用米	12	15	3
	新市場開拓用米	142	200	58
	WCS用稻	1,079	1,100	21
	加工用米	448	500	52
	その他	36	35	▲ 1
	計	18,192	18,100	▲ 92
全水稻		71,300	71,200	▲ 100

＜令和6年産戦略作物の作付計画＞ 単位：ha

年産		5年産	6年産	
項目		実績 ①	計画 ②	5年産実績との差 ②-①
麦		336	350	14
大豆		1,006	1,060	54
飼料作物		1,616	1,570	▲ 46
そば		1,727	1,385	▲ 342
なたね		84	85	1
高収益作物		865	895	30

注1：二毛作を含む

注2：畑地化を除く計画

- (イ) 国の基本指針において令和6年6月末在庫量が180万トンを下回る見込みと示されたことに加え、猛暑の影響により1等米比率が低下したこともあり、令和5年産米の相対取引価格は全銘柄平均で令和4年産対比10%程度上昇して推移している。
- (ウ) 米価の安定化と円滑な流通を図るために引き続き需要に応じた米の生産が必要との認識のもと新聞広告やチラシの作成配布により、継続した需給調整の必要性を啓発するとともに、「産地づくり通信」を発行し、生産者手取り試算や活用できる事業等を紹介し、需要に応じた米づくりの実施を呼びかけた。
- (エ) 令和5年産において、主食用米の作付が「生産の目安」を大きく超過した地域農業再生協議会に対して意見交換を実施し、需要に応じた米生産を推進した。
- (オ) 備蓄米は、第2回の入札までに県優先枠26,313トン全量が落札され、一般枠も含め目標とする3万トン以上を確保できる見込みである。各地域農業再生協議会では備蓄米の早期確保に向け、生産者結びつきの推進を進めている。
- (カ) 飼料用米は、多収品種について県域の産地交付金が措置され、前年の倍以上の5,000ha程度の取組を見込んでいる。地域枠の産地交付金等の訴求も含め、一般品種による取組の推進が必要である。
- (キ) 加工用米や新市場開拓用米は、「コメ新市場開拓等促進事業」の活用を促し、実需と結びついた低コスト栽培を推進した。何れも一般品種による取組となるため、今後も推進が必要である。

(3) 交付対象水田見直しへの対応

各地域農業再生協議会に対し、5年水張りルールにおける湛水管理の確認体制の整備等を呼びかけるとともに、生産者に対する周知状況を調査した。令和5年12月末現在で約8割の協議会が生産者の意向を把握していない状況にあるが、営農計画書の配布時もしくはとりまとめ時に周知を図る予定としており、今後ルールの周知や水張りの実施が本格化するものと想定される。

県推進会議では、5年水張りルールの周知と田畠輪換やクローテーションを促すチラシを作成した。

(4) コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業

各地域農業再生協議会から要望のあった当該事業の産地・実需協働プランをとりまとめ、県取組計画書を作成したほか、採択となった地域については実績報告を行った。

(5) 物価高騰に伴う穀類乾燥調製施設支援事業の事務

県の令和5年度補正予算において措置された「物価高騰に伴う穀類乾燥調製施設支援事業」の交付事務を担い、交付金を交付した。

2 事業実施状況

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
5月8日	相馬市役所	令和5年産米の需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換
5月9日	伊達市役所 国見町役場	○水田農業をめぐる情勢について ○「令和5年度水田収益力強化ビジョン」の考え方及び今後の推進について ○令和5年産米にかかる需要に応じた生産・販売の取組について ○その他 参考：地域農業再生協議会（相馬市、伊達市、国見町）、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議事務局 計44名
5月12日	－	コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業 県取組計画を国へ承認申請
5月16日	J A福島ビル	令和4年度下期内部監査 監査員：2名 出席者：県、中央会3名 計5名
5月22日	県自治会館	令和4年度監事監査 監事：2名 出席者：県、中央会5名 計7名

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
5月24日	J A福島ビル	<p>令和5年度第1回事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度下期内部監査の結果について ○水田農業をめぐる情勢について ○令和5年度福島県水田収益力強化ビジョンの策定状況について ○令和5年度第1回総会の開催及び提出事項について ○令和4年度事業報告及び収支決算（案）について ○令和5年産備蓄米における地域農業再生協議会別面積配置にかかる対応の考え方について ○その他 <p>参考集者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計13名</p>
5月30日	J A福島ビル	<p>水田農業における需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換（福島県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農林水産省からの情報提供 ○福島県・団体からの情報提供 ○意見交換 <p>出席者：県、県推進会議構成員、福島県稲作経営者会議、農林水産省、東北農政局、東北農政局福島県拠点 計18名</p>
5月31日	ふくしま中町会館	<p>令和5年度第1回総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 報告第1号 令和4年度下期内部監査の結果について 報告第2号 水田農業をめぐる情勢について 報告第3号 令和5年度福島県水田収益力強化ビジョン（案）について ○議題 議案第1号 令和4年度事業報告および収支決算（案）について 議案第2号 令和5年産備蓄米における地域農業再生協議会別面積配置にかかる対応の考え方（案）について ○その他 <p>出席者：本人6団体、代理2団体、委任3団体</p>

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
6月16日 6月19日	会津若松市役所 喜多方市役所	令和5年産米の需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換 ○水田農業をめぐる情勢について ○令和5年産米の需要に応じた生産・販売の取組について ○その他 参考者：地域農業再生協議会（会津若松市、喜多方市） 東北農政局福島県拠点、県、県推進会議事務局計32名
6月22日	—	コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業の採択を実施主体へ通知
10月31日	J A福島ビル	令和5年度第2回事務局会議 ○令和6年産米の取り組みの基本的考え方（素案）について ○その他 参考者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員計11名
11月1日 ～ 1月12日	—	物価高騰に伴う穀類乾燥調製施設支援事業の募集
11月17日	J A福島ビル	令和6年産米の需要に応じた生産・販売にかかる地域農業再生協議会説明会 ○水田農業をめぐる情勢について ○令和6年産米に向けた対応の基本的考え方（素案）について ○その他 出席者：地域農業再生協議会、JA、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計85名
11月20日	J A福島ビル	水田農業における需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換会（福島県） ○農林水産省からの情報提供 ○福島県水田農業産地づくり対策等推進会議からの情報提供 ○意見交換 出席者：県、県推進会議構成員、農林水産省、東北農政局、東北農政局福島県拠点 計16名
11月27日	J A福島ビル	令和5年度上期内部監査 監査員：2名 出席者：県、中央会 4名

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
11月27日	J A福島ビル	<p>令和5年度第3回事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度上期内部監査結果報告 ○水田農業をめぐる情勢 ○令和5年度第2回総会の開催及び提出事項について ○令和5年度予算の補正（案）について ○令和6年産米の取組の基本的考え方（案）について ○令和6年産米の地域の合理的な単収の設定（案）について ○その他 <p>参考者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計11名</p>
12月1日	ふくしま中町会館	<p>令和5年度第2回総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 報告第1号 上期内部監査結果報告 報告第2号 水田農業をめぐる情勢 ○議題 議案第1号 令和5年度予算の補正（案）について 議案第2号 令和6年産米の取り組みの基本的考え方（案）について 議案第3号 令和6年産米の地域の合理的な単収の設定（案）について <p>出席者：本人5団体、代理4団体、委任2団体</p>
12月8日	クーラク ーリアン テサンパ レス	<p>令和6年産米の需要に応じた生産・販売にかかる地域農業再生協議会説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水田農業をめぐる情勢について ○令和6年産米に向けた対応の基本的考え方について ○令和6年産米の地域の合理的な単収の設定について ○その他 <p>出席者：地域農業再生協議会、方針作成者、JA、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計107名</p>

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
1月 16 日	南会津合 同庁舎	令和6年産米の需要に応じた生産・販売に向けた南会津地域の地域農業再生協議会担当課長等会議 ○水田農業をめぐる情勢について ○令和6年産米の作付けに向けた対応の基本的考え方について ○南会津管内における令和6年産米の需要に応じた米づくりについて ○その他 出席者：地域農業再生協議会（各町担当課長）、JA、商系業者、県、県推進会議 計23名
1月 31 日	J A福島 ビル	令和5年度第4回事務局会議 ○令和5年度第3回総会の開催及び提出事項について ○水田農業をめぐる情勢 ○令和6年産米の地域の合理的な単収の設定について ○令和5年度予算の補正について（案） ○令和6年度水田収益力強化ビジョンの考え方及び今後の推進について（案） ○令和6年度産地交付金について（案） ○その他 参考者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計13名
2月 5 日	ふくしま 中町会館	令和5年度第3回総会 ○報告事項 報告第1号 水田農業をめぐる情勢 報告第2号 令和6年産米の地域の合理的な単収の設定について ○議題 議案第1号 令和5年度予算の補正（案）について 議案第2号 令和6年度水田収益力強化ビジョンの考え方及び今後の推進（案）について 議案第3号 令和6年度産地交付金（案）について 出席者：本人5団体、代理4団体、委任2団体

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
2月 7 日	J A福島ビル	令和6年産米の需要に応じた生産・販売にかかる地域農業再生協議会説明会 ○水田農業をめぐる情勢について ○令和6年産米の地域の合理的な単収の設定 ○令和6年度水田収益力強化ビジョンの考え方及び今後の推進について ○畑作物の推進方針等について ○令和6年度産地交付金について 出席者：地域農業再生協議会、方針作成者、JA、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計 115名
2月 29 日	—	コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業（令和6年産）の要望提出
3月 4 日	—	物価高騰に伴う穀類乾燥調製施設支援事業補助金の交付
3月 7 日 3月 13 日 3月 14 日	会津坂下町役場 郡山市役所 白河市役所 会津美里町役場	令和6年産米の需要に応じた生産・販売に関する意見交換 報告事項 ○水田農業をめぐる情勢について ○「令和6年度水田収益力強化ビジョン」の考え方および今後の推進について 意見交換事項 ○令和6年産米にかかる需要に応じた生産・販売の取組について ○その他 参考集者：地域農業再生協議会(会津坂下町、郡山市、白河市、会津美里町)、東北農政局福島県拠点、県、県推進会議 計 44名

日 時	場 所	実施内容・参加者（出席者）
3月21日	J A福島ビル	<p>令和5年度第5回事務局会議</p> <p>○水田農業をめぐる情勢について</p> <p>○「畑作物産地形成促進事業」及び「コメ新市場開拓等促進事業」等の取り組み状況等について</p> <p>○令和5年度第4回総会の開催及び提出事項について</p> <p>○令和5年度予算の補正（案）について</p> <p>○令和6年度事業計画及び収支予算（案）について</p> <p>○令和6年度負担金の賦課及び徴収方法（案）について</p> <p>○事務経費に係る費用の負担に関する協定書（案）について</p> <p>○事務手続き等に関する付帯決議（案）について</p> <p>○令和6年産米における穀物検定協会食味試験出品銘柄と今後の取り組みのすすめ方（案）について</p> <p>○その他</p> <p>出席者：東北農政局福島県拠点、県、県推進会議構成員 計12名</p>
3月28日	杉妻会館	<p>令和5年度第4回総会</p> <p>○報告事項</p> <p>報告第1号 水田農業をめぐる情勢</p> <p>報告第2号 「畑作物産地形成促進事業」及び「コメ新市場開拓等促進事業」等の取り組み状況等について</p> <p>○議題</p> <p>議案第1号 令和5年度予算の補正（案）について</p> <p>議案第2号 令和6年度事業計画及び収支予算（案）について</p> <p>議案第3号 令和6年度負担金の賦課及び徴収方法（案）について</p> <p>議案第4号 事務経費に係る費用の負担に関する協定書（案）について</p> <p>議案第5号 事務手続き等に関する付帯決議（案）について</p> <p>出席者：本人8団体、代理2団体、委任1団体</p>

3 令和5年度決算財務諸表

令和5年度収支計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【収入の部】

(単位:円)

科目		予算額 A	決算額 B	予算対比増減 C = B - A	備考
大科目	中科目				
負担金	負担金	2,000,000	2,000,000	0	県 1,000,000 中央会 1,000,000
補助金	水田農業改革支援事業補助金	8,622,000	8,622,000	0	
	物価高騰に伴う穀類乾燥調製施設支援事業補助金	35,100,000	35,049,734	△ 50,266	
前年度繰越金	一般管理費繰越金	695,956	695,956	0	
収入合計		46,417,956	46,367,690	△ 50,266	

【支出の部】

(単位:円)

科目		予算額 A	決算額 B	予算対比増減 C = B - A	備考
大科目	中科目				
補助金	物価高騰に伴う穀類乾燥調製施設支援事業補助金	35,100,000	35,049,734	△ 50,266	
管理費	一般管理費	11,317,956	10,514,214	△ 803,742	
支出合計		46,417,956	45,563,948	△ 854,008	

【差引収支差額】 803,742 円

注) 予算額 Aは、第4回総会（令和6年3月28日開催）で決定した予算額

財産目録
令和6年3月31日 現在

(単位:円)

摘要	要	金額	
		内訳	合計
I 資産の部			
1 預金 ① 普通預金		1,685,304	1,685,304
資産合計		1,685,304	1,685,304
II 負債の部			881,562
1 未払金 (内訳)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月コピ一代 881,562 ・ 3月分振込手数料 63,470 ・ クリアファイル作成費 3,080 ・ ファイル購入費 799,700 ・ ファイル購入費 15,312 		
負債合計		881,562	881,562
正味財産			803,742

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの福島県水田農業産地づくり対策等推進会議の事業の執行を監査しました。

その結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、事務局から事業の報告を聴取し、重要な書類等の閲覧および財産の状況を調査し、業務の報告を求めました。

また、会計帳簿等の調査を行い、事業報告書、収支決算書および財産目録について精査を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、事業の実施状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支決算書の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 財産目録は、記載すべき財産を正しく記載しているものと認めます。

令和6年5月24日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

監事 小松信之 

監事 安田清敏 